

# 木造住宅バルコニー FRP防水施工標準仕様書〈改修編〉

〈令和元年改訂版〉



FRP 防水材工業会

**FBK** FRP防水材工業会  
FRP Waterproofing Membrane Industry Association

# 木造住宅バルコニー FRP防水施工標準仕様書<改修編>

## — 発刊にあたって —

木造住宅新築工事のバルコニーに FRP 防水が施工されるようになり約 30 年が経過しようとしています。その間、当工業会では 2005 年（平成 17 年）に『木造住宅バルコニーFRP 防水施工標準仕様書』を発行し、木造住宅バルコニーに FRP 防水を施工する場合の指針として、設計の方々や木造建築に携わる多くの方々に利用されてきました。

その後、住宅リフォーム（改修）ストック数が増え、工務店や大手住宅メーカーにおいても新築からリフォームの市場へ移行する傾向が見られます。

また、平成 21 年に施行された「長期優良住宅普及促進法」により、住宅の長期の使用が推進され、今後住宅のリフォーム市場はますます拡大していくことが予想されます。

このような動きの中、当工業会では木造住宅バルコニーの改修に関する標準的な仕様を整備すべく、総務委員会を中心に検討を行って参りましたが、2013 年（平成 25 年）に FRP 防水改修仕様の指針となる「木造住宅バルコニーFRP 防水施工標準仕様書<改修編>」を作成しました。

本仕様書の要点は下記の通りです。

- ◆ 下地の種類を (1)FRP 防水仕様 と (2)その他防水仕様 に分類した。
- ◆ 基本的な下地処理方法を記載した。
- ◆ 標準の納まり図を記載した。
- ◆ 標準の改修仕様として、FRP 防水 2 層密着仕様、FRP 防水通気緩衝仕様の 2 仕様を標準仕様として記載した。
- ◆ 環境対応型防水仕様として、環境対応型 FRP 防水材料認定基準を記載した。
- ◆ 参考仕様として、FRP 防水 1 層密着仕様、上塗り・中塗り塗替え仕様、上塗り塗替え仕様を記載した。

今回、日本建築学会標準仕様書・JASS8（防水工事）が 2014 年度に改訂されたこともあり、本仕様書の改訂を行いました。

なお、今回の改訂の要点は下記の通りです。

- ◆ 防水用樹脂、ガラスマットの品質を JASS8 品質規格 2014 年度版に変更
- ◆ 付属資料 4. FRP 防水材工業会会員名簿を変更
- ◆ その他誤字、脱字等を修正

2019 年 10 月

FRP 防水材工業会

# 目 次

1章 総 則	
1.1 適用範囲	1
1.2 用 語	1
2章 防水下地の基本要件	
2.1 適用される下地	4
2.2 下地の状態及び処理	4
2.3 ドレン廻りの処理	8
2.4 納まり図の一例	8
3章 防水層の仕様	
3.1 防水層の仕様	9
3.2 環境対応型防水仕様	11
3.3 参考仕様	13
4章 防水材料	
4.1 プライマー	15
4.2 防水用ポリエステル樹脂	15
4.3 防水用ガラスマット	16
4.4 通気緩衝シート	17
4.5 硬化剤	17
4.6 トナー	17
4.7 保護・仕上げ材	17
4.8 パテ材	17
4.9 絶縁用テープ	17
4.10 ドレン・ストレーナー	17
5章 施 工	
5.1 事前確認	18
5.2 施工前の下地確認	18
5.3 既存ドレンの確認	18
5.4 FRP 防水施工方法	18

6章 施工管理	
6.1 工事前の対策	22
6.2 材料の保管	22
6.3 施工時の天候と環境条件	23
6.4 現場（施工箇所）の養生	23
6.5 施工時の安全衛生	24
6.6 防水層の養生	24
6.7 廃材の処理	25
6.8 防水工事業者の指定	25

7章 注意事項	
7.1 火災予防事項	26

付属資料-1 FRP 防水材工業会会員各社の改修工法一覧表

付属資料-2 木造住宅バルコニーFRP 防水チェックシート

付属資料-3 バルコニーにおける FRP 防水層を維持管理する上での注意事項

付属資料-4 FRP 防水材工業会会員名簿